

倉渕ダムを考える勉強会 第2回

烏川源流の豊かで貴重な自然について知る

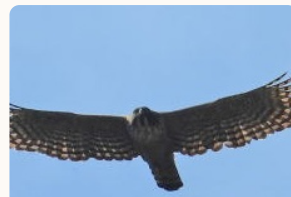
— 絶滅危惧種が数多く生息する源流域、失くしたら二度と戻らない —

クマタカをはじめ、多くの絶滅危惧種の動植物が生息する烏川源流域。豊かな森には唯一無二の生態系があります。

人里や都会で暮らしていると、自分たちには関係がない世界のように感じられます。ところが、人間もこの地上で他の生物とつながり生きる種の一つ。生態系のバランスが崩れる時、人間の生活にも影響が出てきます。

ダムができて、烏川源流の自然環境が大きく変わってしまったらどうなるのでしょうか。そこに棲んでいたクマやシカ、イノシシ達は？

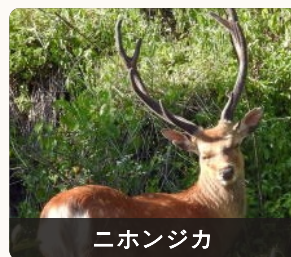
今回の勉強会は、烏川源流域で自然観察を長年続けていらっしゃるお二人の講師をお招きし、希少な動植物の生態やダムができることによる自然環境と倉渕地区への影響についてお話しさせていただきます。



クマタカ（絶滅危惧種）



ツキノワグマ



ニホンジカ



ニホンカモシカ

講師紹介

信州ツキノワグマ研究会
坂本 義則 さん

烏川源流の会
栗原 直樹 さん

開催日時 2026年10月28日（水） 18:30 ~ 20:30

参加費無料・予約不要

開催場所 倉渕公民館 学習室2 （群馬県高崎市倉渕町三ノ倉303）

ふるさとの豊かな自然と水源を守り、次世代へ手渡すために—— どなたでもご参加いただけます。ぜひお問い合わせのうえお越しください。

主催：倉渕ダムを考える会

連絡先メール thinkdam@ymail.ne.jp